

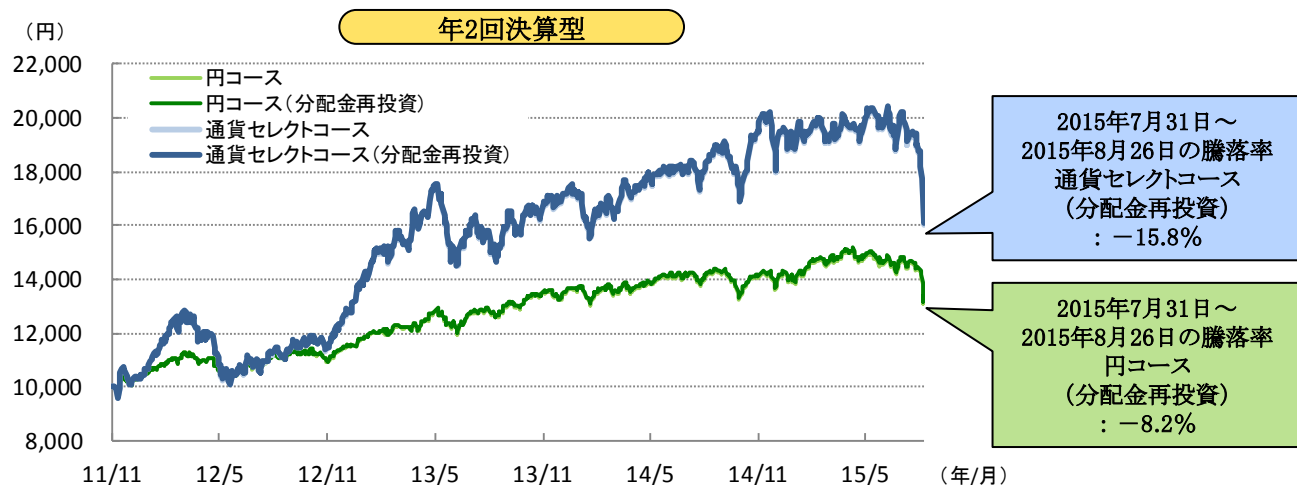
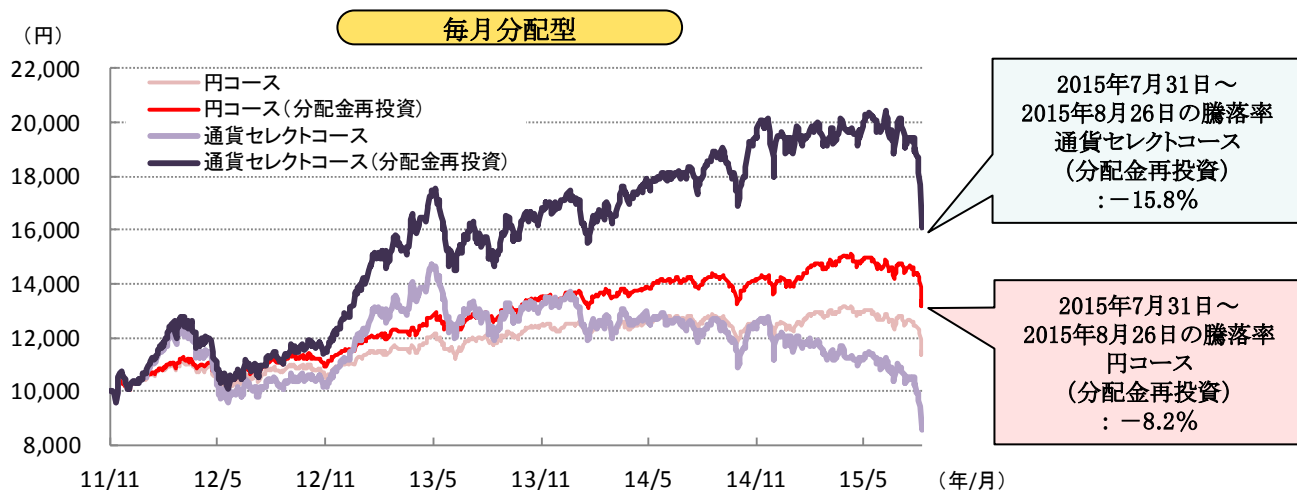
「野村グローバル高配当株プレミアム(通貨選択型)」  
投資環境と今後の見通しについて

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「野村グローバル高配当株プレミアム(通貨選択型)」(以下、ファンド)は、世界の金融市場の混乱などの影響により、基準価額が下落し、2015年8月26日現在、円コース(毎月分配型):11,524円、通貨セレクトコース(毎月分配型):8,669円、円コース(年2回決算型):13,331円、通貨セレクトコース(年2回決算型):16,275円となりました。

以下に基準価額の動きをご報告し、次ページ以降でファンドの投資環境ならびに今後の見通しについてご説明いたします。

1. ファンドの基準価額の推移(期間:2011年11月18日(設定日)~2015年8月26日、日次)



基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【ご参考資料】

2. ファンドの基準価額下落の背景と、投資環境について

(1) 世界高配当株の下落について

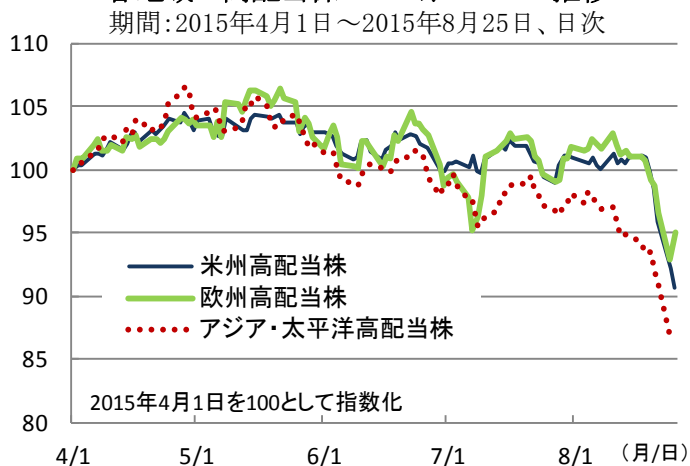
中国の景気下振れ懸念がくすぶるなか、当局が人民元切り下げに踏み切り、同国の景気が一段と悪化すると懸念が世界的に広がったことなどを背景に、世界の高配当株は値下がりしました。

米州の高配当株式は、米経済指標が市場予想より弱い内容だったことや、中国景気の悪化懸念などを背景に下落しました。

欧州の高配当株式は、トルコ軍の空爆により周辺地域の緊張が高まっていること、世界景気の悪化懸念などを背景に軟調に推移しました。

アジア・太平洋の高配当株式は、中国をはじめとする新興国の成長減速に対して懸念が広がったことなどを背景に、下落しました。

＜各地域の高配当株のパフォーマンス推移＞



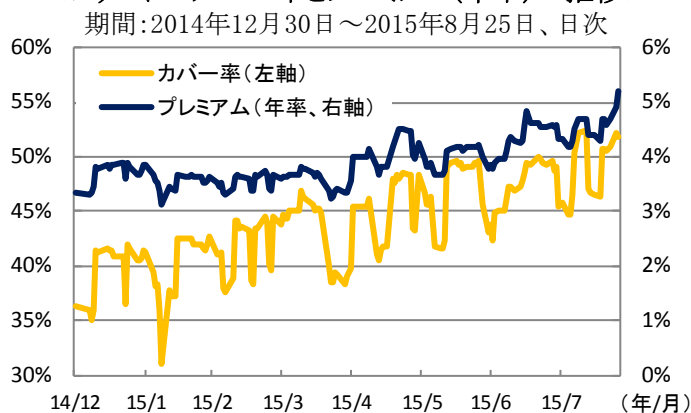
米州高配当株：MSCI北米・ハイ・ディビデンド・イールド・インデックス、欧州高配当株：MSCI欧州・ハイ・ディビデンド・イールド・インデックス、アジア・太平洋高配当株：MSCIアジア・ハイ・ディビデンド・イールド・インデックス、全て米ドルベース  
(出所) FactSetのデータを基に野村アセットマネジメント作成

(2) 株式プレミアム戦略について

ファンドは「株式プレミアム戦略」を活用します。「株式プレミアム戦略」とは、保有する銘柄にかかるコール・オプション(買う権利)を売却し、オプションのプレミアム収入の獲得を目指す戦略をいいます。主に株価が下落した場合等や、ボラティリティ(価格変動の振れ幅)が大きくなった際に効果を発揮します。

ファンドでは、「株式プレミアム戦略」の効果を高めるため、カバー率(純資産に対するオプションのポジション)を機動的に変更しており、2015年以降はカバー率を高めています。また、足元では世界株式市場に不安が広がるなか、当戦略から得られるプレミアムが上昇しています。

＜ファンドのカバー率とプレミアム(年率)の推移＞



・カバー率：純資産に対するオプションのポジション  
・プレミアム(年率)：純資産に対する年率調整後のプレミアム収入

＜ご参考 「株式プレミアム戦略」の効果のイメージ＞

	プラス	マイナス	効果
ケース1 株価が上昇 (権利行使価格以下の場合)	オプションのプレミアム収入	—	あり
ケース2 株価が下落 (当初株価を下回った場合)	オプションのプレミアム収入	—	あり
ケース3 株価が大きく上昇 (権利行使価格を上回った場合)	オプションのプレミアム収入	オプションにおける支払い* (株価が権利行使価格を超える部分)	なし

株式1銘柄を保有し、当該銘柄のコール・オプションを100%売却した場合のオプション満期日における一例です。ファンドでは、保有銘柄の一部または全部にかかるコール・オプションを売却します。

左記は、「株式プレミアム戦略」に関する説明の一部であり、「株式プレミアム戦略」についてすべてを網羅したものではありません。ファンド全体の損益を示したものではありません。

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

また、右上のグラフの情報はファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

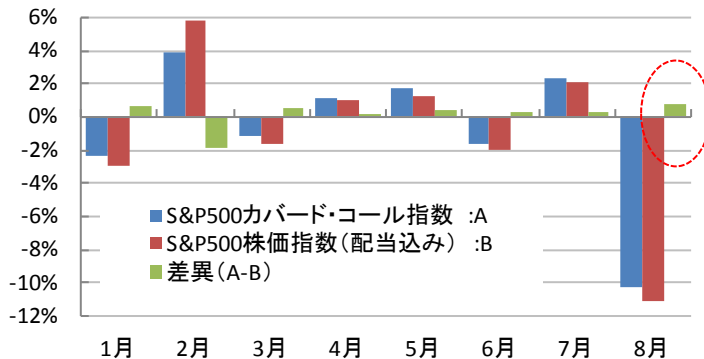
当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。のうえ、ご自身でご判断ください。

(ご参考) 「株式プレミアム戦略」の効果について

米国におけるコール・オプションを活用した指数(S&P500カバード・コール指数)とS&P500株価指数の騰落率を比較すると、8月に入ってから下落局面では、S&P500カバード・コール指数が優位となりました。その他の月についても、株価が大きく上昇した2月以外は、S&P500カバード・コール指数が幾分優位となりました(右グラフ参照)。

＜S&P500カバード・コール指数とS&P500株価指数の月間騰落率の比較＞

期間:2015年1月～2015年8月※



※ 2015年8月は、8月25日までの騰落率  
 S&P500カバード・コール指数は、「CBOE S&P500 2% OTM BuyWrite Index」を使用。  
 BuyWriteとは、原資産(株式等)の買いとコール・オプションの売りの組合せポジションのことです。  
 ファンドでは、保有銘柄の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することを基本とします。この場合、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却しますので、S&P500カバード・コール指数とは異なります。  
 (出所)ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

(3) 「通貨セレクトコース」の選定通貨の動きについて

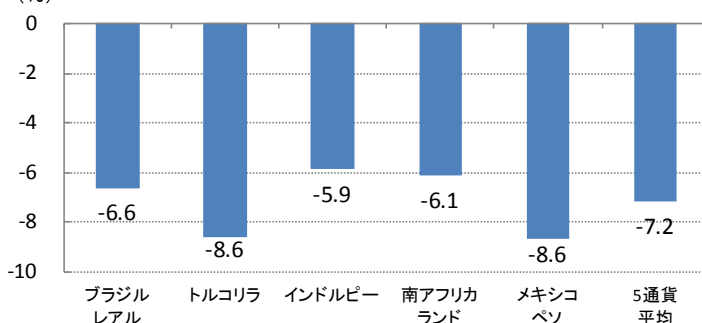
「通貨セレクトコース」では、通貨選定における候補国・地域の中から、金利水準、ファンダメンタルズ(経済の基礎的条件)、流動性等を考慮し、原則として相対的に金利が高い5通貨が選定されます。また、選定通貨と通貨配分比率は、定期的に(原則、毎月)見直しを行ないます。

2015年8月25日現在の「通貨セレクトコース」の選定通貨は右グラフの5通貨となっています。

為替市場では、中国経済を巡る不透明感の高まり等を背景に新興国からの資本流出圧力が高まり、通貨セレクトコースで選定する全ての通貨が対円で下落しました。世界的なリスク回避姿勢の高まりなどから、円が買い戻されて主要通貨に対して急騰したことも、当該5通貨の下落要因となりました。

＜通貨セレクトコース採用通貨(対円)の騰落率＞

期間:2015年7月31日～2015年8月25日



(出所)ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
 また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

### 3. 今後の見通しについて

#### (1) 世界株式市場の今後の見通し

現在直面している株式市場の不安定さは、投資家心理の悪化の影響が大きいと思われます。世界経済の成長見通しについては特に大きく変わっておらず、少なくとも先進国経済が落ち込み始めている兆候は顕著ではありません。

現在は、株式市場全体に割安感が出ており、また、全面的に市場が下落する局面では優良銘柄も無差別に売られることから、魅力的な投資機会が提供されていると考えます。

また、ファンドが実質的な投資対象としている世界高配当株は、株価の値動きにより左右されるものの、相対的に高い配当収益によって下支えされており（右グラフ参照）。株価の下落は配当利回りの上昇につながることから、高配当株式に投資するメリットは高まっていると考えられます。

今後については、米国においては、将来的に金利の上昇が意識されやすいことや、中国株式市場が不安定な動きとなっていることなどから、慎重な見方も必要と考えます。一方、ECB（欧州中央銀行）が大規模な金融緩和策を実施していることや、日本の低金利政策が長期化すると見られること、加えて米国経済も底堅い成長が期待されることなどから、中長期的な観点では、世界経済は緩やかながら成長を続けるものと考えます。

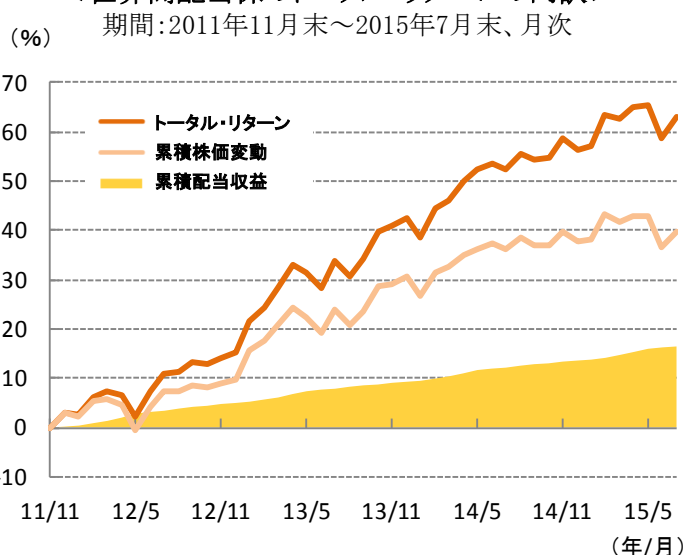
引き続き、長期的な視点から安定した利益成長が見込まれる銘柄に投資します。

#### (2) 「株式プレミアム戦略」について

ファンドにおける株式プレミアム戦略では、2015年初からカバー率を高めてきました。当戦略から得られるプレミアム収入は、2014年12月30日に3.3%であったところ、2015年8月25日には5.2%まで上昇しています（対純資産、年率）。

中国経済に対する懸念などの不確定要素は、しばらく払拭されない可能性があります。このような不安定な環境下においては「株式プレミアム戦略」は有効であると考えられます。

#### < 世界高配当株のトータル・リターンの内訳 >



「トータル・リターンの内訳」は「累積配当収益」と「累積株価変動」からなり、「トータル・リターン」の変動要因を示したものです。各内訳は、世界高配当株指数の月間変化率を2011年11月末を起点に、配当収益と株価変動に分解し、それぞれを月次ベースで累積したものです。複数期間の各内訳を累積する過程で差異が生じる為、「累積配当収益」と「累積株価変動」を足し合わせたものは、「トータル・リターン」にはなりません。

世界高配当株: MSCIワールド・ハイ・ディビデンド・イールド・インデックス (配当込み、現地通貨ベース)  
(出所) FactSetのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

### (3) 通貨セレクトコースについて

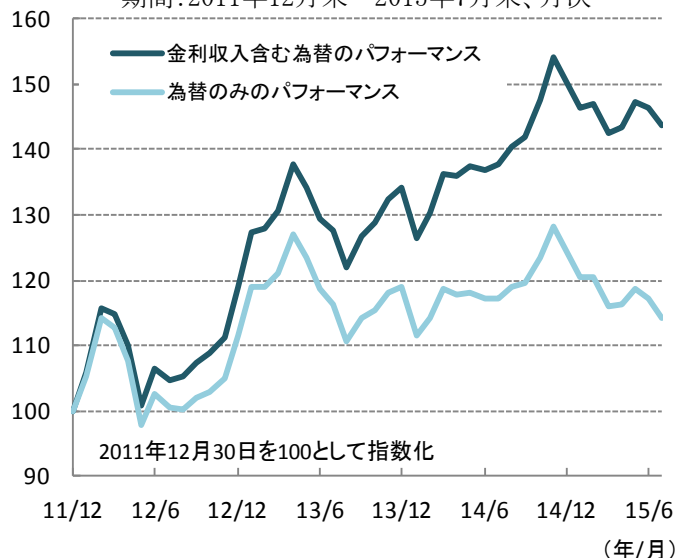
米国の金融政策の正常化、資源価格の下落、中国を巡る不透明感の高まり(景気、株価、為替)などを背景に、当面は新興国からの資本流出圧力が続く可能性があります。そのため、通貨セレクトコースの選定通貨につきましても、不安定な動きとなる可能性があります。

このように、金利の高い通貨への投資はリスクを伴うため、金融市場でリスク回避的な動きが強まった場合は、通貨が一時的に大きく下落する傾向があります。一方で、中長期的には、為替取引による高水準のプレミアム(金利差相当分の収益)がパフォーマンスの下支え要因となることが期待されます(右グラフ参照)。

通貨セレクトコースでは、引き続き、経済ファンダメンタルズが相対的に健全で、相対的に下落リスクが小さいと判断した国の通貨への配分比率を高めた運用を行ってまいります。

#### <金利収入を含めた為替の推移(対円)>

期間:2011年12月末~2015年7月末、月次



各パフォーマンスは、現時点で通貨セレクトコースの選定通貨である5通貨の月次リターンを20%ずつ合成し毎月リバランスしています。金利収入を含めた為替のパフォーマンスは、JPモルガン・エマージング・ローカル・マーケット・インデックス・プラスの各サブインデックスを使用しています。同インデックスは新興国の短期金融市場の収益率を表す指数で、主に為替のフォワード取引やNDF取引等をもとに算出されています。(出所)ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

今後とも「野村グローバル高配当株プレミアム(通貨選択型)」をご愛顧賜りますようお願いいたします。

以上

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

#### <当資料で使用した指数について>

- MSCIワールド・ハイ・ディビデンド・イールド・インデックス、MSCI北米・ハイ・ディビデンド・イールド・インデックス、MSCI欧州・ハイ・ディビデンド・イールド・インデックス、MSCIパシフィック・ハイ・ディビデンド・イールド・インデックスはMSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- S&P500株価指数は、スタンダード&プアーズが公表している株価指数で、米国の主要500社によって構成されています。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はスタンダード&プアーズ ファイナンシャルサービスズ エル エル シーに帰属しております。
- CBOE S&P500 2% OTM BuyWrite Indexは、CBOE(Chicago Board Options Exchange)が公表している指数で、当該指数に関するその著作権および知的財産権は同社に帰属します。
- JP モルガン・エマージング・ローカル・マーケット・インデックス・プラス(JP Morgan Emerging Local Markets Index Plus)は、J.P. Morgan Securities LLCが公表している現地通貨建ての新興国の短期金融市場を対象としたインデックスであり、その著作権および知的財産権は同社に帰属します。

【ファンドの特色】

- 「野村グローバル高配当株プレミアム(通貨選択型)」は、投資する外国投資信託において為替取引手法の異なる2つのコース(円コース、通貨セレクトコース(各コースには「毎月分配型」、「年2回決算型」があります。))から構成されています。
  - 高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目指します。
  - 世界の高配当利回り株式(以下、「高配当株」といいます。)を実質的な主要投資対象<sup>※1</sup>とします。加えて、保有する銘柄にかかるコール・オプションを売却し、オプションのプレミアム収入<sup>※2</sup>の獲得を目指す「株式プレミアム戦略」を実質的に活用します。
- ※1「実質的な主要投資対象」とは、外国投資信託や「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。  
 ※2 オプションを売った対価として受取る権利料のことを指します。

<一般的なコール・オプションとは>

- ・コール・オプションとは、ある特定の商品(株式など)を将来のある期日(満期日など)に、あらかじめ決められた特定の価格(=権利行使価格)で買う権利を売買する取引のことです。
- ・取引開始日に、コール・オプションの買い手は、その対価として、コール・オプションの売り手にプレミアム(権利料)を支払います。
- ・買い手は満期日に権利を行使して、当該商品を権利行使価格で手に入れることができます。一方、売り手はこの権利行使に応じる必要があります。商品の受渡しによる決済のほか、現金による決済もあります。
- ・株価水準や株価変動率が上昇すること等が、コール・オプションの評価値の上昇要因となります。なお、コール・オプションの売却を行なう場合には、コール・オプションの評価値の上昇は、損失を被る要因となります。
- ※上記は、コール・オプションの全てを説明したものではありません。また、当てはまらない場合もあります。

- 円建ての外国投資信託「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドVーグローバル・ハイ・ディビデント・エクイティ・プレミアム」および国内投資信託「野村マネー マザーファンド」に投資します。

・「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドVーグローバル・ハイ・ディビデント・エクイティ・プレミアム」には、為替取引手法の異なる2つのクラスがあります。

コース名	各コースが投資対象とする外国投資信託の為替取引手法
円コース (毎月分配型) / (年2回決算型)	組入資産を、原則として対円で為替ヘッジを行ないます。
通貨セレクトコース (毎月分配型) / (年2回決算型)	組入資産について、原則として、実質的に当該組入資産にかかる通貨を売り、選定通貨 <sup>※</sup> (米ドルを除く)を買う為替取引を行ないます。

※ 選定通貨は、投資対象とする外国投資信託の共同投資顧問会社が選定した通貨を指します。  
 詳細は、交付目論見書の「各コースが投資対象とする外国投資信託の概要」の投資方針をご覧ください。

- ◆ 通常の場合においては、「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドVーグローバル・ハイ・ディビデント・エクイティ・プレミアム」への投資を中心とします<sup>※</sup>が、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定します。  
 ※ 通常の場合においては、「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドVーグローバル・ハイ・ディビデント・エクイティ・プレミアム」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。

■ 外国投資信託「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドVーグローバル・ハイ・ディビデント・エクイティ・プレミアム」の主な投資方針について ■

- ◆ 世界の高配当株を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行なうことを基本とします。
- ◆ 高配当株への投資に加えて、「株式プレミアム戦略」を活用し、さらなる収益の獲得を目指します。「株式プレミアム戦略」とは、保有する銘柄にかかるコール・オプションを売却し、オプションのプレミアム収入の獲得を目指す戦略をいいます。
  - ・各コール・オプションの売却等は、市場環境等を考慮し、それぞれ異なるタイミングで行ないます。
  - ・保有銘柄の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することを基本とします。この場合、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却します。
  - ・同一の銘柄に対し条件の異なる複数のコール・オプションを売却する場合があります。
  - ・各コール・オプションの満期時において、再度コール・オプションを売却する場合があります。この場合、コール・オプション条件は異なる可能性があります。
  - ・ファンドでは、原則として、権利行使が満期日のみに限定されているオプションを利用することを基本とします。

- ◆ 運用にあたっては、野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー株式会社(NFR&T)に、運用の指図に関する権限の一部を委託<sup>\*</sup>します。

\* NFR&Tおよび野村アセットマネジメントの組織再編について

NFR&Tは、平成27年10月1日(予定)にリテール運用関連事業を分割し、野村アセットマネジメント株式会社が当該事業を承継します。これに伴い、同日以降は、運用の指図に関する権限の一部の委託は行ないません。同日以降は、NFR&Tが投資信託証券の評価等をし、運用に関する助言を行ない、それに基づき、野村アセットマネジメント株式会社が運用を行ないます。また、組織再編に関し、ファンドの投資方針には何ら変更はありません。

- ・投資顧問会社が、高配当株や株式オプションの運用を行なう副投資顧問会社の選定と、各副投資顧問会社が運用する信託財産の配分比率を決定します。
- ・副投資顧問会社の選定にあたっては、運用体制や運用プロセスなどに対する独自の定性評価を重視し、高配当株や株式オプションの運用において優れていると判断した運用会社を原則として複数選定します。
- ・投資顧問会社は選定した副投資顧問会社およびファンド全体のリスク特性の状況をモニターし、必要に応じて各副投資顧問会社が運用する信託財産の配分比率の変更や副投資顧問会社の入替を適宜行ないます。

主な担当地域	副投資顧問会社	運用の再委託先
米州	BlackRock Investment Management, LLC	BlackRock Investment Management (UK) Limited BlackRock Asset Management North Asia Limited
欧州	Schroder Investment Management Limited	-
アジア・太平洋	野村アセットマネジメント株式会社 Colonial First State Asset Management (Australia) Limited	-

- ・出所：NFR&Tの情報に基づき野村アセットマネジメント作成
- ・上記の各副投資顧問会社は、平成27年7月31日現在のものであり、投資顧問会社の投資判断その他の理由により、適宜増減および入替が行なわれる可能性があります。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

- 各コースはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。
- 「野村グローバル高配当株プレミアム(通貨選択型)」を構成する「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングができます。
- 分配の方針
  - ◆毎月分配型
 

原則、毎月17日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行います。  
分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が決定するものとし、原則として、配当等収益等を中心に安定分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合や安定分配とならない場合があります。なお、毎年5月および11月の決算時には、上記安定分配相当額に委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。

※「原則として、配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものであることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。
  - ◆年2回決算型
 

原則、毎年5月および11月の17日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行います。  
分配金額は、分配対象額の範囲内で、基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。

\*委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

【投資リスク】

各ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、株式等に実質的に投資し、加えてオプション取引を活用しますので、当該株式等の価格下落や、当該株式等の発行会社の倒産や財務状況の悪化およびオプション価値の変動等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※ファンドの基準価額の変動要因には、この他にも、債券価格変動リスクなどがあります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 平成33年11月17日まで(平成23年11月18日設定)
- 決算日および収益分配 【毎月分配型】年12回の決算時(原則、毎月17日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。  
【年2回決算型】年2回の決算時(原則5月および11月の17日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 一般コース:1万円以上1万円単位(当初元本1口=1円)  
または1万円以上1円単位  
自動けいぞく投資コース:1万円以上1円単位  
※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- スイッチング 「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングが可能です。  
※販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日が下記のいずれかの休業日に該当する場合または12月24日である場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングのお申込みができません。  
・ルクセンブルクの銀行・ロンドン証券取引所・ロンドンの銀行  
・ニューヨーク証券取引所・ニューヨークの銀行  
・オーストラリア証券取引所・シドニーの銀行
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

(2015年8月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に4.32%(税抜4.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年0.9504%(税抜年0.88%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 ○実質的にご負担いただく信託報酬率 ・円コース 年1.9004%程度(税込) ・通貨セレクトコース 年2.0504%程度(注)(税込) (注)純資産総額によっては、記載の信託報酬率を下回る場合があります。 *ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。
◆その他の費用・手数料	組入る有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時、スイッチングを含む)	1万円につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。  
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

◆設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号:野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
加入協会:一般社団法人投資信託協会/  
一般社団法人日本投資顧問業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先:野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ ☎0120-753104  
(受付時間)営業日の午前9時~午後5時

★インターネットホームページ★  
<http://www.nomura-am.co.jp/>

★携帯サイト★  
<http://www.nomura-am.co.jp/mobile/>

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

# 野村グローバル高配当株プレミアム(通貨選択型)

## お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
野村証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○
ふくおか証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第5号	○			

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。  
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。